

弥彦村社教だより

令和2年7月16日 NO.16

弥彦村社会教育委員の会

《令和2年度始動・・・委員長》



後列 河井・石井・阿部委員

前列 那須・渡辺・柏原委員

(右上 半間委員)

「教育委員は聞いたことがあるけれど、社会教育委員って何をしているの?」という人が、大勢おられます。

「社会教育委員の会」では、この「社教だより」を通して、社会教育委員の活動や社会教育情報、地域づくりイベント、生涯学習情報等をお伝えします。

社会教育委員の仕事は、地域を盛り上げる活動づくり

地域の人づくり、地域の絆づくりのために、活動を企画

・運営したり、参加者を集めたり、住民の意見を聞いたり

します。そして、それをまとめて、年度末に村教育委員会に次年度に向けた提言を行います。

コロナの影響で、昨年度末に会がもてず、年度末の反省と次年度への提言をまとめることができませんでした。今年度の始動も少し遅くなり、今後も活動が制限されることが予想されます。それでも、第1回の委員の会で「やれる事からやっっていこう」ということになりました。詳細は、以下の報告で示します。

地域の皆様、これから様々な情報をお伝えし、弥彦村を盛り上げたいと考えておりますので、社会教育委員の会の活動にご協力ください。

(文責 渡辺)

《新任のあいさつ1》

本年度より社会教育委員に任命され、活動させていただくことになりました石井と申します。

私は、昨年社会教育委員の会主催の「地域づくり交流会」に参加させていただき、初めて本会の事を知りました。私自身生まれも育ちも弥彦村で、2人の子供は現在高校生ですが、社会教育については全く関心を持っていませんでした。交流会に参加し、想像していた以上に多勢の方が弥彦村の事を考えて活動していることに驚きました。また、「弥彦のPR動画」や「あいさつマーク運動」など弥彦村で日々生活していながら知らなかった事がたくさんあることにも驚きました。

縁あって前任の方より本会に誘っていただきました。私のように社会教育委員について知らない方もたくさんいらっしゃると思います。1人でも多くの方に活動を知っていただ

き、地域の皆様と共に弥彦村の発展に繋がるよう微力ながら尽力できたらと思っております。
(文責 石井)

《新任のあいさつ2》

今年度より弥彦村社会教育委員に就任いたしました阿部と申します。

社会教育委員になりませんか？と声を掛けていただいた時に、私に務まるのかな？と不安な気持ちがありました。しかし、昨年度行われた「地域づくり交流会」に私と子供達で参加した事がきっかけで、子供達をもっと弥彦村と関わりたい・弥彦村の為に何かしたいと話してくれるようになっていたことで、社会教育委員になる決心をしました。私が、社会教育委員として弥彦村と関わっていくと同時に、子供達を通してこれからの世代の方達と弥彦村との掛橋になれば良いと思います。

そもそも社会教育委員って何？という事を私自身がまだ理解できていません。今後の活動としては、昨年度までの活動を継続しつつ、先輩方の後に着いて勉強しながら、弥彦村民の方々に社会教育委員の活動をPRしていこうと思います。昨今の新型コロナウイルスの影響により活動が制限される事もあるでしょうが、持ち前の気力と精神でできる事から頑張っていきたいです。
(文責 阿部)

《第1回社会教育委員の会報告》

6月16日(火)に弥彦総合文化会館において、第1回社会教育委員の会を開催しました。村広報に載せる写真を撮影してから渡辺委員長のあいさつで開会しました。自己紹介で場が和んでから今年度の活動について話し合いました。以下に話し合った内容を紹介いたします。
(文責 堀)



第1回社会教育委員の会 会議風景

「令和2年度活動の方針」

1 社会教育委員のスキルアップ

委員が力をつけるため県や各種団体が主催する研修会に参加する。また、昨年度実施できなかった他市町村視察研修を行い、社会教育委員の会の中で研修を行う。

2 活動の充実

これまで継続して行ってきた交流会を継続して実施する。また、一昨年実施したPR動画コンクールの第2回開催に向けた準備をする。さらに、村全体で取り組むあいさつ運動をできることからやっていく。

3 活動の輪を広げる

村広報誌、社教だより等で活動を周知することに加え、委員一人一人が、多くの人に声かけをするために、各種行事に参加し、多くの機会でのPR活動を行う。

「具体的な取組」

1 交流会

開催日を11月28日（土）教育フォーラムの後で行うこととする。中高生の参加を増やすとともに、テーマを決めて話し合い、その実現を目指す。

2 PR動画コンクール

コンクールの実行委員会を立ち上げる。昨年度の交流会で出た、「作品の分野を増やす」「募集方法を工夫する」「発信の方法を増やす」などの案をまとめ、村民の意見として実行委員会に示す。コンクールの来年度実施を目指す。

3 弥彦村あいさつマーク運動（仮称）

何ができるか、弥彦にとって何がいいかを検討し、次年度予算立てするための見積りもりを行い、できることから実践に移す。

4 社教だより

今年度は4号発行を目指す。

5 研修

11月に開催予定の全国社会教育研究大会に、主催県の委員として参加する。コロナの問題で、県内各種研修が中止となる中で、当委員の会の中で独自に研修を行う。また、田上町の社会教育施設を視察し、田上町社会教育委員と意見交換する。

「今年度の予定」

月 日	時 間	会 場	事 業 名	内 容
6月16日（火）	16：00～	文化会館	第1回委員の会	各事業計画
7月21日（火）	16：30～	文化会館	第2回委員の会	PR動画、あいさつ運動、他
10月1日（木）	16：30～	文化会館	第3回委員の会	交流会、全国大会、他
11月11～13日	（水～金）	アオーレ長岡	全国社会教育研究大会	講演・分科会
11月28日（土）	未定	未定	第6回地域づくり交流会	地域づくりの協議
12月8日（火）	16：30～	文化会館	第4回委員の会	交流会反省、たより、年度反省
2月未定		役場分館	教育委員合同会議	来年度への提言

《天香山命・・・書籍紹介》

越後一宮彌彦神社の御祭神である天香山命の伝承を追って全国を取材した新潟日報社の連載記事38回分が、加筆修正して書籍化されました。発売から一月も経たずに版元は品切れ、ネット書店も絶版扱い、版元の重版予定はなしということです。

作者は、彌彦神社祭神「天香山命」（あめのかごやまのみこと）は、いつ、どこから、どのようにして越後のお山に來たか、手掛かりを神話・伝説に求め、これを伝える地域の神職や識者の声を聞きました。また、古代文研や系図・系譜にも当たり、作家や研究者の考えも、参考にしました。さらに、畿内、丹後、尾張など全国各地をはじめ、県内の糸魚川、小千谷、胎内、出雲崎、野積、間瀬、福井に足を運び、書き上げました。

彌彦文化会館内の図書室に、この書が2冊所蔵してあります。興味のある方は、ぜひ、お読みください。
(文責 徳永)



《弥彦PR動画コンクール実行委員の募集》



第1回ポスター

社会教育委員の会では、一昨年実施した「弥彦村PR動画コンクール」の第2回を令和3年度に実施することとしました。

第1回のコンクールは、準備期間が短く、応募期間も短かったため、作品応募が少なく、盛り上がりには欠けるものでした。その反省を生かし、企画段階に時間をかけて臨みます。前回は上回るように、募集分野を増やしたり、作品の配信機会を増やしたりするなど考えています。

つきましては、「弥彦村PR動画コンクール」の実行委員会を立ち上げるに当たり、実行委員を募集します。やってみたいとお考えの方は、下記事務局にご連絡ください。(文責 那須)

委員長	渡辺 和也 (矢作)	副委員長	柏原 路子 (麓二区)
委員	那須 裕美子 (川崎)	委員	河井 昌之 (弥彦中校長)
委員	半間 義之 (矢作)	委員	石井 亘 (井田)
委員	阿部 朗子 (弥彦)		
事務局	堀 隆行 ・ 徳永 拓実 (教育課)		

※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、教育課事務局にお電話ください。(事務局 94-4311)